

TR

日本語組版の DSSSL ライブラリ (追補 1)

TR X 0010 : 2003

TR X 0010:2000 は、平成 15 年×月×日付で改正されました。
この追補には、改正内容が記載されています。

公表(改正) 平成 15 年?月?日
(有効期限 平成 18 年?月?日)

日本工業標準調査会 標準部会
情報技術専門委員会 審議

(日本規格協会 発行)

まえがき

この追補は、TR X 0010:2000 が、平成 15 年 xx 月 xx 日付けで改正されたことによって発行されたものである。

この追補の一部が、技術的性質をもつ特許権，出願公開後の特許出願，実用新案権，又は出願公開後の実用新案登録願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権，出願公開後の特許出願，実用新案権，又は出願公開後の実用新案登録願にかかわる確認について，責任はもたない。

この追補には，解説が添付されている。

主 務 大 臣： 経済産業大臣 公表:平成 15.?.?.? 有効期限:平成 18.?.?.?

提 案 者： 財団法人 日本規格協会 (情報技術標準化センター)

分 類： タイプ II

審 議 部 会： 日本工業標準調査会 標準部会 (部会長??????)

審議専門委員会： 情報技術専門委員会 (専門委員長??????)

この標準情報(TR)についてのご意見又はご質問は，提案者 [財団法人日本規格協会 (〒107-0052 東京都港区赤坂 4 丁目 8-8 Tel.03-5770-2251)] 又は経済産業省産業技術環境局標準課情報電気標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞ヶ関 1 丁目 3-1 Email:qqgcbd@meti.go.jp 又は FAX:03-3580-8625] にご連絡ください。

目 次

	ページ
a) 1. 適用範囲に関する変更.....	1
b) 2. 引用規格に関する変更.....	1
c) 箇条の追加.....	1
3.34 区分セル (distinguishable_cell).....	2
4.26 表.....	2
5.4 表ライブラリ.....	3
附属書 F 表ライブラリの記述.....	4
F.1 サンプルとして使用した XML ファイル.....	4
F.2 サンプルで使用した DTD.....	5
F.3 定義付けされたスクリプト.....	8
F.4 サンプル用スタイルシート.....	11
解説.....	13

日本語組版の DSSSL ライブラリ X 0010:2003 (追補 1)

DSSSL Library for Japanese Compositions (Amendment 1)

序文 この標準情報(TR)は、2002 年度における日本規格協会 情報技術標準化研究センター(INSTAC)の電子出版技術調査研究委員会の調査研究をもとに工業標準化の促進に関連して特に重要と判断される技術情報をまとめ、TR X 0010 の追補 1 として公表するものである。

TR X 0010:2000 を、次のとおりに改正する。

- a) 1. **適用範囲に関する変更** “ TR X 0008 ” を “ JIS X 4159 ” に変更する。
b) 2. **引用規格に関する変更** 2.の記述を次のとおりに変更する。

次に掲げる規格などは、この標準情報(TR)に引用されることによって、この標準情報(TR)の一部を構成する。これらの規格などに付記してある年は、この標準情報(TR)の出版の際に有効であった版の発効年(又は発行年)を示す。規格などは改正されることがあるため、この標準情報(TR)の利用に際しては、次に掲げる規格などの最新版がこの標準情報(TR)に適用できるかどうかを調べることを推奨する。

JIS X 4153:1998 文書スタイル意味指定言語 (DSSSL)

備考 ISO/IEC 10179:1996 Document Style Semantics and Specification Language (DSSSL)及び ISO/IEC 10179:1996/Cor.1:2001 が、この規格に一致している。

ISO 8879:1986 Standard Generalized Markup Language (SGML)及び ISO 8879:1986/Cor.2:1999

備考 JIS X 4151:2001 文書記述言語 SGML が、ISO 8879:1986 及び ISO 8879:1986/Amd.1:1988 の内容に技術的追加及び編集上の変更を加え、ISO 8879:1986/Cor.1:1996 及び ISO 8879:1986/Cor.2:1999 を反映したものである。

JIS X 4159:2002 拡張可能なマーク付け言語 (XML)

備考 W3C Recommendation, REC-xml-20001006, Extensible Markup Language (XML) 1.0 (Second Edition)が、この規格に一致している

JIS X 4051-1995 日本語文書の行組版方法

JIS X 0208-1997 7ビット及び8ビットの2バイト情報交換用符号化漢字集合

TR X 0003:2000 フォント情報処理用語

JIS X 4161:2002 フォント情報交換 第1部 体系

備考 ISO/IEC 9541-1:1991 Font information interchange - Part 1: Architecture, ISO/IEC 9451-1:1991/Amd.1:2001, ISO/IEC 9451-1:1991/Amd.2:1998, ISO/IEC 9451-1:1991/Amd.3:2000 が、この規格に一致している。

IEEE Scheme standard, R4RS

- c) **簡条の追加** 次の簡条を追加する。

- 1) 3.34 区分セル
- 2) 4.26 表
- 3) 5.4 表ライブラリ
- 4) 附属書 F 表ライブラリの記述

各箇条の内容を次に示す。

3.34 区分セル (distinguishable cell) セルに対角線を引き、そこで区切られた領域に文字列を流し込むために、仮想的な区分を設定したセル。

4.26 表

4.26.1 表の体裁 対象とする表の体裁を次のとおりとする。“ ” は文字(列)を表す。

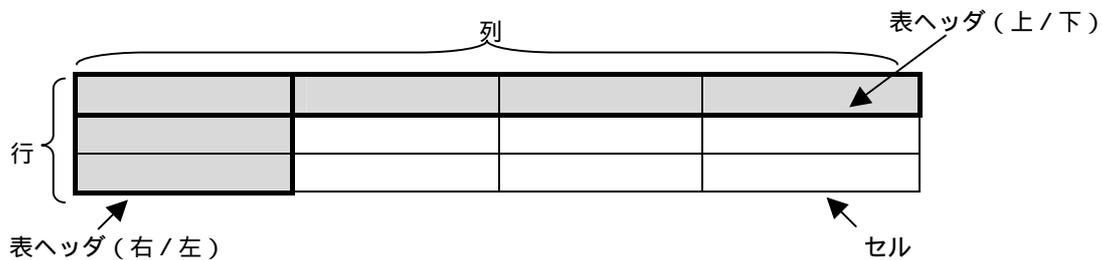


図 4.8 対象とする表の体裁

- a) 表の外郭は長方形とする。ただし四角を丸めること(round)を許容する。
 - 1) 要素 TABLE の属性として、ROUND を用いる。ROUND の値は、true 又は false のいずれかとし、初期値は false とする。
 - 2) 丸める角の扇の半径を設定するために、要素 TABLE の属性として、RADIUS を用いる。RADIUS の値は、数値とし、初期値は 0 とする。
- b) 大きさの指定の単位は、mm, cm, pt 又は em とする。
 - 1) 要素 TABLE の属性として、UNIT を用いる。UNIT の値は、mm, cm, pt 又は em とし、初期値は mm とする。
- c) 画像をは貼り込むことができるセルの中に画像を貼り付ける場合、要素 TABLECELL の属性として、IMAGESRC, IMAGEHEIGHT, IMAGEWIDTH 及び IMAGETYPE を用いる。
 - 1) 行内の場合は、要素 TABLECELL の子要素として IMAGE を用い、前述の属性を設定する。
 - 2) それぞれの値を次のとおりとする。
 - IMAGESRC 任意のパスとし、設定は必須とする。
 - IMAGEHEIGHT 及び IMAGEWIDTH 数値とし、初期値は実際の画像の大きさとする。
 - IMAGETYPE 任意の文字列とし、初期値は JPEG とする。

4.26.2 表の外郭のラウンド設定 長方形の表を作成する際は、定義された table-style を使用し、表の四角を丸める場合には corner-rounded-table-style を使用する。corner-rounded-table-style では、半径 table-corner-radius の設定も可能とする。

4.26.3 セルの背景色の指定 表全体、表ヘッダ、フッタ、行単位、列単位、セル単位のそれぞれに対して、背景色を設定可能とする。

4.26.4 セルのけい線体裁の設定 けい線を引く場合は `cell-border-style` を選択する。初期値は `#t` とする。すべてにけい線を引かない場合は `nonborder-style` を選択する。けい線が同じ座標を指定する場合の優先順位の付け方は、次のとおりとする。

a) **要素レベルでの優先順位** 優先順位は、次のとおりとする。

TABLE > TABLECELL > TABLECOLUMN > TABLEROW > TABLEHEADER > TABLEFOOTER

b) **上下左右での設定** 全体の色指定に対して、上下左右それぞれに対する個別の設定が優先される。

例 全体の色指定に対して、上下左右それぞれに対する個別の設定が優先される。

```
<TABLECELL BORDERCOLOR="red" BORDERRIGHTCOLOR="blue">
```

右辺は青とし、右辺以外は赤となる。

4.26.5 セルにおけるマージン体裁の設定 マージンをつける場合は、`cell-margin-style` を選択する。初期値は `1mm` とする。すべてにマージンをつけない場合は、`non-margin-style` を選択する。

4.26.6 列の設定 `unit-columns` によって列の数及び幅を設定する。

例 `unit-columns(1 1 1)` の場合は、等幅の列を三つ生成する。

`unit-columns(1 3 5)` の場合は、`1:3:5` の幅をもつ三つの列を生成する。

4.26.7 区分セル セルに対角線を引き、そこで区切られた領域に文字列を流し込むことができる。行に関する文字列を `ROW_STRING`、列に関する文字列を `COLUMN_STRING` とする。列の左右ポジション設定は、`COLUMN_STRING` であれば、`distinguishable-column-position` によって行い、`ROW_STRING` であれば、`distinguishable-row-position` によって行う。

値は、`left`、`center`、`right` 又は数値とする。初期値は `center` とする。体裁設定は、`make-distinguishable-cell` によって定義する。

区分セルを図 4.9 に示す。“ ” は文字(列)を表す。

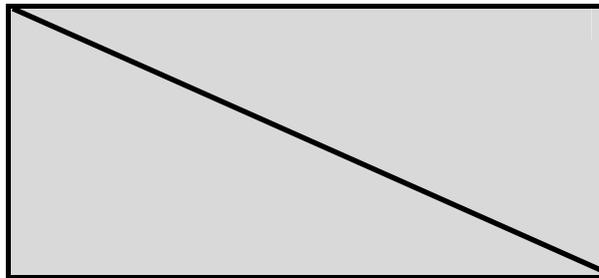


図 4.9 区分セル

5.4 表ライブラリ 図 5.2 に示す表を表現するために使用した XML ファイル、DTD、定義付けされたスクリプト、スタイルシートを附属書 F に示す。

alpha num	A	B	C
1	A-1	B-1	C-1
2	A-2	B-2	C-2
3	A-3	B-3	C-3

図 5.2 表のサンプルレイアウト

附属書 F 表ライブラリの記述

F.1 サンプルとして使用した XML ファイル

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_Jis"?>
<!DOCTYPE TABLE SYSTEM "table.dtd"[]>
<TABLE>
  <TABLEHCOLUMN COLUMN_WIDTH="35"/>
  <TABLECOLUMN COLUMN_WIDTH="35"/>
  <TABLECOLUMN COLUMN_WIDTH="35"/>
  <TABLECOLUMN COLUMN_WIDTH="35"/>
  <TABLEHEADER>
    <TABLEROW>
      <DISTINGUISHABLE_CELL>
        <ROW_STRING IMAGESRC="">alpha</ROW_STRING>
        <COLUMN_STRING IMAGESRC="">num</COLUMN_STRING>
      </DISTINGUISHABLE_CELL>
      <TABLECELL IMAGESRC="">A</TABLECELL>
      <TABLECELL IMAGESRC="">B</TABLECELL>
      <TABLECELL IMAGESRC="">C</TABLECELL>
    </TABLEROW>
  </TABLEHEADER>
  <TABLEBODY>
    <TABLEROW>
      <TABLECELL IMAGESRC="">1</TABLECELL>
      <TABLECELL IMAGESRC="">A-1</TABLECELL>
      <TABLECELL IMAGESRC="">B-1</TABLECELL>
      <TABLECELL IMAGESRC="">C-1</TABLECELL>
    </TABLEROW>
    <TABLEROW>
      <TABLECELL IMAGESRC="">2</TABLECELL>
      <TABLECELL IMAGESRC="">A-2</TABLECELL>
      <TABLECELL IMAGESRC="">B-2</TABLECELL>

```

```

<TABLECELL IMAGESRC="">C-2</TABLECELL>
</TABLEROW>
<TABLEROW>
  <TABLECELL IMAGESRC="">3</TABLECELL>
  <TABLECELL IMAGESRC="">A-3</TABLECELL>
  <TABLECELL IMAGESRC="">B-3</TABLECELL>
  <TABLECELL IMAGESRC="">C-3</TABLECELL>
</TABLEROW>
</TABLEBODY>
</TABLE>

```

F.2 サンプルで使用した DTD

```

<!ENTITY % border
  "BACKGROUNDCOLOR CDATA #IMPLIED
  BORDERTOPCOLOR CDATA #IMPLIED
  BORDERBOTTOMCOLOR CDATA #IMPLIED
  BORDERLEFTCOLOR CDATA #IMPLIED
  BORDERRIGHTCOLOR CDATA #IMPLIED
  BORDERTOPWIDTH CDATA #IMPLIED
  BORDERBOTTOMWIDTH CDATA #IMPLIED
  BORDERLEFTWIDTH CDATA #IMPLIED
  BORDERRIGHTWIDTH CDATA #IMPLIED
  BORDERTOPSTYLE CDATA #IMPLIED
  BORDERBOTTOMSTYLE CDATA #IMPLIED
  BORDERLEFTSTYLE CDATA #IMPLIED
  BORDERRIGHTSTYLE CDATA #IMPLIED"
>
<!ENTITY % font
  "FONTSIZE CDATA #IMPLIED
  FONTSTYLE CDATA #IMPLIED"
>
<!ENTITY % image
  "IMAGESRC CDATA #REQUIRED
  IMAGETYPE CDATA #IMPLIED
  IMAGEWIDTH CDATA #IMPLIED
  IMAGESIZE CDATA #IMPLIED"
>
<!ENTITY % cellMargin

```

```

"CELLTOPMARGIN CDATA #IMPLIED
  CELBOTTOMMARGIN CDATA #IMPLIED
  CELLEFTMARGIN CDATA #IMPLIED
  CELLRIGHTMARGIN CDATA #IMPLIED"

```

>

<!ELEMENT TABLE

((TABLEHCOLUMN|TABLECOLUMN)+,TABLEHEADER?,TABLEFOOTER?,TABLEBODY)>

<!ATTLIST TABLE

```

  ROUND (true|false) "false"
  UNIT CDATA #IMPLIED
  IMAGEWIDTH CDATA #IMPLIED
  KEEPWITHPREV (true|false) "false"
  KEEPWITHNEXT (true|false) "false"
  KEEPWITHTOGETHER (true|false) "false"
  BREAKBEFORE (true|false) "false"
  BREAKAFTER (true|false) "false"
  DIAGONAL_LINE (true|false) "false"
  %border;

```

>

<!ELEMENT TABLECOLUMN EMPTY>

<!ATTLIST TABLECOLUMN

```

  DESIGNATED_STRING CDATA #IMPLIED
  COLUMN_WIDTH CDATA #IMPLIED
  %border;

```

>

<!ELEMENT TABLEHCOLUMN EMPTY>

<!ATTLIST TABLEHCOLUMN

```

  DESIGNATED_STRING CDATA #IMPLIED
  COLUMN_WIDTH CDATA #IMPLIED
  %border;

```

>

<!ELEMENT TABLEHEADER (TABLEROW+)>

<!ATTLIST TABLEHEADER

```

  %border;

```

>

<!ELEMENT TABLEFOOTER (TABLEROW+)>

<!ATTLIST TABLEFOOTER

```

  %border;

```

```

>
<!ELEMENT TABLEBODY (TABLEROW+)>
<!ATTLIST TABLEBODY
    %border;
>
<!ELEMENT TABLEROW (TABLECELL|DISTINGUISHABLE_CELL)+>
<!ATTLIST TABLEROW
    %border;
>
<!ELEMENT TABLECELL (#PCDATA|IMAGE)*>
<!ATTLIST TABLECELL
    %font;
    %image;
    CELLALIGN (left|right|middle|justify) "left"
    CELLALIGN_ROW (start|end|center) "center"
    NOTE (true|false) "true"
    %cellMargin;

    ROWSPAN CDATA #IMPLIED
    COLMNSPAN CDATA #IMPLIED
    COLUMNNUM CDATA #IMPLIED
    Descend_Font_Size_if_Exceed_Cell_Width (true|false) "false"
    HEIGHT CDATA #IMPLIED
    WMODE (left-to-right|right-to-left|top-to-bottom) "left-to-right"
    %border;
>
<!ELEMENT ROW_STRING (#PCDATA|IMAGE)*>
<!ATTLIST ROW_STRING
    TOPMARGIN CDATA #IMPLIED
    RIGHTMARGIN CDATA #IMPLIED
    %font;
    %image;
    CELLALIGN (left|right|middle|justify) "left"
    CELLALIGN_ROW (start|end|center) "center"
    NOTE (true|false) "true"
    %cellMargin;
    Descend_Font_Size_if_Exceed_Cell_Width (true|false) "false" >

<!ELEMENT COLUMN_STRING (#PCDATA|IMAGE)*>
<!ATTLIST COLUMN_STRING

```

```

    BOTTOMMARGIN CDATA #IMPLIED
    LEFTMARGIN      CDATA #IMPLIED
    %font;
    %image;

    CELLALIGN (left|right|middle|justify) "left"
    CELLALIGN_ROW (start|end|center) "center"
    NOTE (true|false) "true"
    %cellMargin;
    Descend_Font_Size_if_Exceed_Cell_Width (true|false) "false"
>
<!ELEMENT DISTINGUISHABLE_CELL (ROW_STRING,COLUMN_STRING)>
<!ATTLIST DISTINGUISHABLE_CELL
    LINES (Left-To-Right|Right-To-Left) "Left-To-Right"
>

```

F.3 定義付けされたスクリプト

```

<style-specification id="table-lib">
<style-specification-body>
(declare-characteristic table-corner-rounded
    "UNREGISTERED::Next Solution//Characteristic::table-corner-rounded" "#f")
(define *rgb-color-space*
    (color-space "ISO/IEC 10179:1996//Color-Space Family::Device RGB"))
(define (rgb R G B) (color *rgb-color-space* (/ R 255) (/ G 255) (/ B 255)))
(define *lightgray* (rgb 211 211 211))

(define *base-backgroud-color* *lightgray*)
(define *base-table-border* #t)
(define *base-table-corner-radius* 3pt)
(define *base-display-alignment* 'center)
(define *base-cell-margin* 1mm)
(define *base-cell-border* #t)
(define *base-cell-row-alignment* 'center)

(define *table-style*
    (style table-border: *base-table-border*
        display-alignment: *base-display-alignment*))

(define *corner-rounded-table-style*

```

```
(style use: *table-style*
  table-corner-radius: *base-table-corner-radius*
  table-corner-rounded: "#t"))
```

```
(define *cell-margin-style*
  (style cell-before-row-margin: *base-cell-margin*
    cell-after-row-margin: *base-cell-margin*
    cell-before-column-margin: *base-cell-margin*
    cell-after-column-margin: *base-cell-margin*
  ))
```

```
(define *cell-border-style*
  (style cell-before-row-border: *base-cell-border*
    cell-before-column-border: *base-cell-border*
  ))
```

```
(define *cell-style*
  (style use: (merge-style *cell-border-style* *cell-margin-style*)
    cell-row-alignment: *base-cell-row-alignment*))
```

```
(define *background-cell-style*
  (style cell-background?: #t
    background-color: *base-backgroud-color*
    use: *cell-style*
  ))
```

```
(define (TABLE) (make table use: *table-style*))
(define (ROUNDED_TABLE) (make table use: *corner-rounded-table-style*))
(define (TABLE_ROW) (make table-row))
(define (TABLE_HEADER_ROW) (make table-row use: *background-cell-style*))
(define (TABLE_CELL)
  (make table-cell
    quadding: 'center
    use: *cell-style*
    (make paragraph)))
```

```
(define (make-column attribute)
  (make table-column width: (* 1mm (string->number (attribute-string attribute))))))
(define (make-background-column attribute)
  (make table-column
```

```

use: *background-cell-style*
width: (* 1mm (string->number (attribute-string attribute))))

```

```

(define *nonborder-style*
  (style cell-before-row-border: #f
        cell-before-column-border: #f))

```

```

(define *nonmargin-style*
  (style cell-before-row-margin: 0mm
        cell-after-row-margin: 0mm
        cell-before-column-margin: 0mm
        cell-after-column-margin: 0mm))

```

```

(define (unit-columns #!rest ws)
  (apply-map sosof-append (lambda (w) (make table-column width: (table-unit w))) ws))

```

```

(define *distinguishable-column-position* 'center)
(define *distinguishable-row-position* 'center)
(define (make-distinguishable-pos position)
  (cond ((symbol? position)
        (style quadding: position))
        ((and (quantity? position) (not (real? position)))
         (style quadding: 'start
               start-indent: position))
        (else (error "invalid value for ¥"make-distinguishable-pos¥" characteristic"))))

```

```

(define (make-distinguishable-cell row-sosof column-sosof)
  (make table-cell
    cell-crossed: 'with
    use: *nonmargin-style*
    (make table
      cell-crossed: #f
      table-border: #f
      use: (merge-style *nonborder-style* *cell-margin-style*))
    (unit-columns 1 1 1)
    (make table-row
      (make table-cell (make paragraph (empty-sosof)))
      (make table-cell
        use: (make-distinguishable-pos *distinguishable-row-position*))

```

```

        n-columns-spanned: 2
        row-sosofo))
(make table-row
  (make table-cell
    use: (make-distinguishable-pos *distinguishable-column-position*)
    n-columns-spanned: 2
    column-sosofo)
  (make table-cell (make paragraph (empty-sosofo)))
  )))

```

```
</style-specification-body>
```

```
</style-specification>
```

F.4 サンプル用スタイルシート

```
<!DOCTYPE style-sheet PUBLIC "-//James Clark//DTD DSSSL Style Sheet//EN"[
```

```
<!ENTITY table-lib.dsl SYSTEM "table-lib.dsl">
```

```
]>
```

```
<style-sheet>
```

```
<style-specification use="table-lib">
```

```
<style-specification-body>
```

```
(define _PW_0 210.0mm)
```

```
(define _PH_0 297.0mm)
```

```
(define _TM_0 10.0mm)
```

```
(define _BM_0 20.0mm)
```

```
(define _LM_0 21.0mm)
```

```
(define _RM_0 21.0mm)
```

```
(define _RW_0 (- _PW_0 _LM_0 _RM_0))
```

```
(define-page-model _MODEL_0
```

```
  (filling-direction 'top-to-bottom)
```

```
  (width _PW_0)
```

```
  (height _PH_0)
```

```
  (region
```

```
    (width _RW_0)
```

```
    (height (- _PH_0 _TM_0 _BM_0))
```

```
    (x-origin _LM_0)
```

```
    (y-origin _BM_0))
```

```
)
```

```
(root
  (make page-sequence
    repeat-page-models: '(_MODEL_0)))

(element TABLE (TABLE))
; (define *base-table-corner-radius* 10pt)
; (element TABLE (ROUNDED_TABLE))
(element TABLECOLUMN (make-column "COLUMN_WIDTH"))
(element TABLEHCOLUMN (make-background-column "COLUMN_WIDTH"))
(element (TABLEHEADER TABLEROW) (TABLE_HEADER_ROW))
(element (TABLEBODY TABLEROW) (TABLE_ROW))

(define *distinguishable-column-position* 13.5mm)
(element DISTINGUISHABLE_CELL
  (make-DISTINGUISHABLE-cell
    (make paragraph (process-matching-children "ROW_STRING"))
    (make paragraph (process-matching-children "COLUMN_STRING"))))
(element TABLECELL (TABLE_CELL))

</style-specification-body>
</style-specification>
&table-lib.dsl;
</style-sheet>
```

TR X 0010 : 2003

日本語組版の DSSSL ライブラリ (追補 1)

解 説

1. 改正の趣旨及び経緯 TR X 0010 は、第 1 版が 1998 年 10 月に公表され、その後さらに(財)日本規格協会 情報技術標準化研究センター(INSTAC)の電子出版技術調査研究委員会において DSSSL ライブラリに関する検証が継続され、その結果を反映した第 2 版が 2000 年 9 月に公表された。

この DSSSL ライブラリは日本語構造化文書を対象として開発されたものであるが、その後の検討の結果、ほとんどのスタイル要素は日本語以外の構造化文書についても同様の特徴をもち、DSSSL ライブラリが適用可能であることが明らかになった。そこで電子出版技術調査研究委員会は、TR X 0010 の国際提案のためにその英語版の作成に着手した。英語版は、情報処理学会情報規格調査会から ISO/IEC JTC1 に Fast-track 提案されて、2002 年 5 月 8 日期限の DTR 投票で承認された。それは、ISO/IEC TR 19758 として 2003 年 4 月に発行されている。

この DTR 投票に伴う各国からのコメントには、ISO/IEC TR 19758 に含めなかった幾つかのスタイル要素が指摘されており、それに対して順次 Amendment 等によって拡張対応していくことが、コメント対処文書^[1]として公開された。

表のライブラリは、拡張対応の一つであり、多くの DSSSL スタイル指定の利用者からの要求に応えるものである。日本語文書の表には、かなり複雑なスタイル要素が含まれる^[2]が、ここでは多くの文書で比較的共通して利用される HTML 文書の表の部分的拡張にその対象を限定した。つまり、表の外形は長方形とするが、コーナのラウンドを可能とし、セル中に画像を貼り込んだり、斜め罫を引くことを許容する。

表の DSSSL ライブラリは、電子出版技術調査研究委員会によって日本語組版の DSSSL ライブラリ(追補 1)として 2002 年度末に経済産業省に原案提出された。この追補 1 の英語版は、ISO/IEC TR 19758 の Amendment 案として、2003 年 12 月に JTC1/SC34 に提出されている。

2. 審議中の検討事項

2.1 引用規格 この追補 1 の主要規定内容は、表の DSSSL ライブラリであるが、TR X 0010:2000 が公表されたとき以降既に幾つかの引用規定に変更が施されている。そこで、その変更を示すために、表の DSSSL ライブラリを示す"c) 箇条の追加"の前に、

a) 1. 適用範囲に関する変更

b) 2. 引用規格に関する変更

を設けた。

2.2 見出しの項目番号 この追補 1 を構成する大項目は 1., 2., 3.とせず、a), b), c)とした。これは、大項目番号を示す数字と変更対象項目を示す数字とが並んで、見出し内容が紛らわしくなることを防ぐためである。

3. 参考文献

[1] ISO/IEC JTC1/SC34 N0330, Disposition of Comments on ISO/IEC DTR 19758, 2002-07

[2] 表組仕様に関する検討(EPW2-53-2), 平成 14 年度電子出版技術調査研究委員会(EPCOM)報告書(電子版), 2003-03

4. **原案作成委員会** この標準情報(TR)の原案を作成した財団法人日本規格協会 情報技術標準化研究センター(INSTAC)の電子出版技術調査研究委員会及びその作業グループ(WG2)の構成表を次に示す。この内容は、原案を作成完了し提出した 2002 年度末のものである。

	氏名	所属
(委員長)	池田 克夫	大阪工業大学
(幹事)	小町 祐史	パナソニックコミュニケーションズ株式会社
	大久保 彰徳	株式会社リコー
	長村 玄	ネクストソリューション株式会社
	高沢 通	大日本スクリーン製造株式会社
	内山 光一	株式会社東芝
(委員)	小笠原 治	社団法人日本印刷技術協会
	礪波 道夫	社団法人日本新聞協会(読売新聞社)
	木戸 達雄	経済産業省産業技術環境局
(オブザーバ)	三瀬 元康	社団法人日本新聞協会
	高橋 昌行	経済産業省産業技術環境局
(事務局)	内藤 昌幸	財団法人日本規格協会

	氏名	所属
(主査)	長村 玄	ネクストソリューション株式会社
(幹事)	高沢 通	大日本スクリーン製造株式会社
	大久保 彰徳	株式会社リコー
(委員)	小野沢 賢三	社団法人日本印刷技術協会
	越智 靖浩	オプティマムシステムズ株式会社
	小町 祐史	パナソニックコミュニケーションズ株式会社
	千田 滋也	株式会社リコー
	野口 高成	ネクストソリューション株式会社
(オブザーバ)	安達 淳	株式会社沖データ
	高橋 昌行	経済産業省産業技術環境局
(事務局)	内藤 昌幸	財団法人日本規格協会